

- 【安山岩 andesite】火山岩の一種。
- 【受け盤】地層や断裂などの分離面が、傾斜する地形面と逆傾斜の関係にあること。流れ盤の対語。
- 【花崗岩 granite】粗い硅長質結晶からなる火成岩。広義には、石英を含む深成岩類の意味で、花崗岩類という。
- 【貫入岩】マグマが既存の地殻岩石中に貫入して生成した火成岩。
- 【逆断層】上盤が下盤に対してずり上がった断層。
- 【凝灰岩 tuff】火山灰が固結してできた火砕岩。
- 【孔内傾斜計】ボーリング孔内の特定の深度で傾斜をはかる精密測定機。
- 【コールドロン cauldron】火山活動によって形成されるカルデラなどの陥没構造。
- 【酸化層】風化作用、地表水の酸化作用を受けた層。地表水は溶け込んだ酸素、炭酸、種々の有機酸、アンモニア、硫化水素などによって、岩石（中の鉱物）を化学的に変化させる。
- 【新第三紀】新生代のうち、後期中新世と鮮新生をいう。
- 【設楽層群】愛知県設楽堆積盆地に分布する下～中部中新統。礫岩、砂岩、頁岩、凝灰岩、火山岩類からなり、層厚は 3000m。
- 【斜面のクリープ creep】斜面表層が重力によって長時間非常にゆっくりとした速度で下方に滑動する現象。層理や片理が発達する岩盤で発生しやすい。大規模な地すべり性崩壊をひきおこすことがある。
- 【正断層】上盤が下盤に対してずり下がった断層。実際の移動が分かっている場合と見かけ上の場合がある。
- 【閃緑岩 diorite】斜長石を主成分とする粗い結晶質の深成岩。
- 【堆積岩】堆積物が累積して、圧密作用と膠結作用からなる続成作用を受けて固結、形成された岩石。礫岩、砂岩、泥岩など。
- 【第三紀】地質時代の新生代のうち、氷河時代より前の時代。6500 万～160 万年前。
- 【第四紀】地質時代最後の紀で、更新世と完新世に区分。160 万年前以降。
- 【断層】岩石のせん断破壊によって生じた不連続面を断層面といい、その向きを走向と傾斜で表す。
- 【チャート chert】硬く緻密な珪質堆積岩。
- 【中央構造線】領家帯の南縁を画す大断層。九州東部から近畿地方まで日本列島を縦断し、中部地方で大きく北に湾曲する。その後、糸魚川 - 静岡構造

線で切断されて地表では見えなくなるが、関東山地を経て関東平野の地下まで達している。全長 1000km を超える。

【流れ盤】地層や断裂の分離面が地表斜面に対して平行またはそれに近い関係にあること。規模の大きい地すべりや崩壊を起こしやすい。

【二重（多重）山稜】山稜が並行して二重（多重）のもの。成因については、風化浸食作用によるとするもののほか、山地岩体のクリープ、重力すべり、重力性断層、少なくとも一部活断層などの考え方がある。

【日本海の拡大】日本海の成因は、拡大によるとする説が有力で、日本海の拡大は中新世初期に始まったと考えられている。

【破碎帯】主に断層運動に伴い岩石が機械的に破碎され、不規則な割れ目の集まりで、角礫や断層粘土によって構成されるある幅を持った帯。

【フィリピン海プレート】新生代に生成した西フィリピン海盆、四国 - パルセベラ海盆、マリアナトラフ、伊豆 - 小笠原弧 ~ マリアナ弧からなる海洋プレート。相模トラフ - 南海トラフで北西 ~ 西北西方向に 3 ~ 4cm / 年の早さで沈み込んでいる。

【風化作用】岩石が地表にさらされて、ルーズな含水物質に変化する過程。物理的風化（凍結・膨張など）と化学的風化（水和、酸化、炭酸化、加水分解、溶解）に区分されるが、水との接触が鍵となっている。

【不整合】ある地層が、堆積または火成岩・変成岩形成後に隆起し、陸上で風化・浸食を受け、その浸食面上に新規の地層が堆積したとき、両者の関係を不整合という。

【フェンスター】地窓。低角の衝上断層の上盤が浸食されて、下にある岩石が孤立して露出するようになった部分。

【ペグマタイト pegmatite】著しく結晶が大きい花崗岩、巨晶花崗岩。

【片麻岩 gneiss】広域変性作用でできた高変性度の粗粒縞状岩の総称。有色鉱物が多い黒色縞と硅長質白色縞からなる縞状構造がある。

【片理】板状、鱗片状の結晶が一定方向に配列して生じた面状の構造。

【領家帯】西南日本内帯の最外帯（中央構造線に沿った帯状部分）の基盤単位。

【マサ】真砂。花崗岩、閃緑岩、片麻岩などが風化して砂土化したもの。

【横ずれ断層】地層の隔離から判断した走向距離のある断層。

【流紋岩 rhyolite】珩長質火山岩。溶岩、火砕岩、あるいは岩脈をなす。

【領家変成岩】領家帯に断続分布する変成岩類の総称。雲母片岩、石英片岩、黒雲母片麻岩を主とする。三畳紀 ~ ジュラ紀後期に堆積した砂岩・泥岩・礫岩が元になって、古期花崗岩の活動によって高温かつ低圧の条件で生じた変性岩である。

（新版地学事典を参照）